

博物館 topics

那覇市歴史博物館企画展

徳村光子寄贈資料展 夢見る琉球人形

～ Dream of Ryukyu Dolls ～

徳村氏は教会とのやりとりからアイディアを得て、同好会で沖縄をモチーフにしたキリスト教のカードを作るようになりまし。守札門を背景にカラジを結った姿で幼いキリストを抱くマリヤや、亀甲墓から復活するキリストなど、

徳村氏は教会とのやりとりからアイディアを得て、同好会で沖縄をモチーフにしたキリスト教のカードを作るようになりまし。守札門を背景にカラジを結った姿で幼いキリストを抱くマリヤや、亀甲墓から復活するキリストなど、

徳村氏は教会とのやりとりからアイディアを得て、同好会で沖縄をモチーフにしたキリスト教のカードを作るようになりまし。守札門を背景にカラジを結った姿で幼いキリストを抱くマリヤや、亀甲墓から復活するキリストなど、



▲マリヤとキリスト

この機会に、沖縄とキリスト教が融合したギフトカードをぜひ、ご覧ください。

那覇市歴史博物館
那覇の歴史・文化を体験！

開館時間 10時～19時 木曜休館 ☎ 869-5266

那覇市立壺屋焼物博物館イベント情報

共生展

心筋梗塞で一度は死んだはずの西平まじる氏が琉球からイノチのメッセージをたずさえて転生展をしてから早6年。世の中にもっともっとイノチのメッセージを伝えようと、生も死も男も女も若いも若きも赤ん坊まで、そして昨日も今日も明日もぜいぶんぶとけているようなイノチのすごさを共通テーマに、西平まじる氏と若き表現者らが「共生展」を開催します。
(主催：まじるのハウス、チームニマ)

【出展者】西平まじる・上原智也・大城拓也・酒井潮・四方陽介・名嘉太一・なかえりこ・原千絵・廣谷ゆかり・熊谷信也

【ゲストアーティスト】石田誠・ささめやゆき・名嘉ボクネン

日 11月26日(火)～12月1日(日) 場 3階 企画展示室 費 無料



当館は空調設備取替工事のため12月9日から2月下旬にかけて休館を予定しております。なお、工事が完了次第開館いたします。ご了承ください。

開館時間 10時～18時(入館は17時半まで) ☎ 862-3761
月曜休館 ※ただし、月曜が祝日の場合は開館 FAX 862-3762

十世紀の後半、中国福建省莆田県という所に媽祖(マツ)と崇められた女性がいまし。彼女は、良いことや悪いことを占うのに長けていまし。そこで、その死後、人々は廟を建て、彼女を神としてまつるようになり、いつしか航海の安全を守ってくれる神として、中国南部の沿岸地方で広く信じられるようになり、明の皇帝は媽祖に「天妃」(テンペイ)という称号を贈ったのでし。

冊封の船も、沖縄の船も天妃をまつり、出発する時や着いた時には、その地の天妃廟に詣でまし。沖縄には十四世紀の終わり頃にやつてきたという



▲上天妃宮跡の石門

那覇市指定史跡

「上天妃宮跡の石門」

歴史ま〜い

閩人三十六姓(閩とは中国福建省の古名)に代表される華僑の人々とともに、天妃をまつる信仰も伝わったようす。このような天妃信仰は沖縄に限らず、華僑が進出した日本を含む東南アジアにも見られます。従来、那覇には上天妃宮・下天妃宮の二つがあつたと言われていまし。近年の研究では波上にも天妃宮があり、計三つの天妃宮が存在したことが明らかとなつていまし。残念ながら、これらの建物は現在残っていません。上天妃宮跡地は、戦後に那覇市役所として時期利用され、今は天妃小学校となつていまし。上天妃宮の痕跡を示すものは、わずかに石門のみで、当時の様子を知ることのできる貴重な史跡となつていまし。

上天妃宮は、一五六年に冊封正使郭汝霖によつて創建されました。石門に続く石垣は、その積み方が御物城(那覇軍港内)や読谷村の座喜味城の石垣に似ており、布積みからあいかの積み方が用いられるようになるころのものと考えられていまし。

上天妃宮跡の石門は天妃小学校の東側にあります。観賞は自由です。ぜひご覧になつてください。

お問い合わせ 文化財課 ☎ 917-3501

協働さん

いらっしやい!



市民・事業者・行政が支え合う協働のまちづくりに取り組む団体、個人を紹介します。

第33回 土屋 よしこさん (元NPO沖縄グッド・トイ委員会代表)



▲土屋 よしこさん

世の中には数えきれないほど色々なおもちゃがありますが、人生のうちでも最も多くおもちゃに触れ合う幼児期に「本物」のおもちゃに触れてほしいとの願いで子育て支援活動を行っているのが、今回の協働大使の土屋よしこさんです。

土屋さんは、東京で玩具メーカーに就職し、その後ドイツの伝統あるぬいぐるみメーカーの「こどもに本当によいものを」という理念に共感し、独立して、そのぬいぐるみの輸入代理店の仕事を続けていまし。

夫の転勤を機に2010年に沖縄に移住された後、「NPO沖縄グッド・トイ委員会」という組織を立ち上げ、「出張おもちゃ広場」という国内外の良なおもちゃで遊ぶイベントを行ってきた。その他にも市内の全児童館に木のおもちゃの導入を進めたほか、おもちゃに関する資格や

お問い合わせ まちづくり協働推進課 ☎ 861-3846

こどもにこそ“本物”のおもちゃを

経験を活かして、おもちゃ選びや子育てについて県内で講座や講演会を行っています。

これらの活動をとおして、多くのお母さんから「もっと続けてほしい」、「いつでも遊びにいける場所があるといい」、「いつでも遊びにいける経験を役立てたい」という思いを強くしたそうです。その後、これらの活動を継続発展させていくことを決意し、今年5月に浦添市港川に木のおもちゃで親子があそべる空間として、「カーサマルダ」という活動拠点を開設しました。

これまでの歩みについて土屋さんは、「他のお母さんと話をする中で、おもちゃの大切さがあまり知られていないと感じて、少しでもおもちゃ選びの重要性を伝えられたらと思って始めたことでしたが、流れに任せてやっていたら、事がとんとんと進んでこまできた感じがす！」と想像もしなかつた沖縄での生活を振り返っていました。

土屋さんは、要望が高まるNPO沖縄グッド・トイ委員会の活動を発展継続させるため、組織の法人化と活動の組織化に着手していまし。「おもちゃはこどもにとって無くてはならないもの。おもちゃと一緒にこどもの心は成長していくと思いまし。こどもが宝物として、ずっと持ち続けられるそんなおもちゃを、お父さん、お母さんには選んでほしいです」と土屋さんは願っています。

出演 那覇市役所職員2人(右) 那覇市文化協会 うちなーぐち部会 玉那覇朝子(左)



「うちなーぐちや あじくーたー」

貴方め島唄や 思い込みらつていじこー 耳ぐすいさびたん

「(和訳) 貴方が聞かせてくださった島唄は感情がこもつて非常に感動しました。」

「(例文) 貴方が聞かちういみそーちやる島唄や 思い込みらつていじこー 耳ぐすいさびたん」

耳ぐすいの「ぐすい」は薬のこと。何かを聞いて心に伝わってきた感情のことで、感動を表現する言葉です。

①有益な話を聞くこと②素晴らしい音楽を聴くこと③聞いてためになること④感動するなどの意味があります。

耳ぐすいした話や音楽は、感動に余韻が伴う場合もあり、聞いた人の生き方を左右することも多々あります。音楽の場合は「聞ちうどう やたん」という言い方もあります。

お問い合わせ 那覇市文化協会 うちなーぐち部会 吉浜秀彦 名嘉山秀信 ☎ 090-4347-8798

交通事故 相続 離婚 債務整理

相談して「良かった」という声を多数頂いております!!

当事務所は、企業法務にも力を入れておりますので、経営者の方もご相談ください。

ご相談は
何度でも
無料

※個人のお客様のみとさせていただきます。



代表社員弁護士 岡野 浩 巳

～ 明日のためにできること、今あなたとともに。～
弁護士 岡野法律事務所
はいさい那覇支店 【ご予約が必要です】



ゴーゴー な は し てん
0120 55-7840

女性秘書が
丁寧に対応
させていただきます

〒900-0023 沖縄県那覇市楚辺1丁目5番17号 プロフェスビル那覇2階
http://www.okano-hiroshima.jp/naha/ 岡野法律事務所 那覇 検索

広告

OKANO
LAW
OFFICE

岡野法律事務所は代表社員弁護士 岡野 浩巳をはじめ8名の弁護士が所属しております。